

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年8月10日

【四半期会計期間】 第95期第1四半期
(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 船越義和

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部本部長 佐塚真弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部本部長 佐塚真弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第94期 第1四半期 連結累計期間	第95期 第1四半期 連結累計期間	第94期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	4,978,251	5,012,582	19,347,773
経常利益 (千円)	234,606	276,146	856,409
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	158,486	165,698	713,993
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	45,094	341,162	754,981
純資産額 (千円)	15,689,936	16,052,709	16,006,946
総資産額 (千円)	21,452,359	22,091,110	22,231,123
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	5.90	6.17	26.59
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	72.5	72.7	72.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や好調な企業業績もあり雇用・所得環境が改善し、景気は総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。景気の先行きについては、国際情勢の不透明感はあるものの底堅い内需を背景に回復基調が続く見込みであります。

精糖業界においては、消費が減少傾向にあるなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、砂糖は製品の安定供給に取り組み、機能性食品は高付加価値提案型の販売活動に引続き取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,012百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益207百万円（同9.5%減）、経常利益276百万円（同17.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は165百万円（同4.6%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖

精糖事業においては、菓子、冷菓向けの販売が好調な荷動きとなりましたが、特約店向けなどの販売が低調な荷動きとなったため販売数量は前年同期を下回りました。しかしながら、販売単価が前年同期に比べ上昇したことにより、若干ながら増収となりました。コスト面では加工コスト削減に努めたものの、原料糖の仕入コストが上昇したことにより減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高3,101百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益311百万円（同9.7%減）の増収減益となりました。

機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、高付加価値提案の販売効果により新規採用は増加し、また大手ユーザー向け販売も堅調に推移したことにより増収となりました。なお、当第1四半期連結累計期間に「整腸作用に係る機能性表示の申請」が消費者庁に受理されたことにより、第2四半期連結会計期間以降の販売にさらに弾みをつけ、増収に寄与できるよう努めてまいります。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品のゼラチンで低調な荷動きとなったことやOEM事業の数量減などにより減収となりました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高1,729百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益6百万円（前年同期営業損失4百万円）の増収増益となりました。

不動産

不動産事業の業績は、当第1四半期連結累計期間において、杉並区荻窪に賃貸用土地を取得した結果、売上高152百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益135百万円（同0.8%増）の増収増益となり、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

その他食品

その他食品事業につきましては、DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltdの製パン事業であります。業績は、売上高29百万円（前年同期比1.5%減）、営業損失37百万円（前年同期営業損失22百万円）の減収減益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、22,091百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ8.6%減少し、8,515百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ5.1%増加し、13,575百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる土地の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ6.3%減少し、3,584百万円となりました。これは主に買掛金の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、2,453百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ0.3%増加し、16,052百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、14百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,895,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,839,000	268,390	
単元未満株式	普通株式 13,500		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		268,390	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)含まれております。

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,895,700		2,895,700	9.73

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,782,586	1,570,173
受取手形及び売掛金	2,558,594	2,550,833
有価証券	301,047	301,059
商品及び製品	1,824,765	1,999,148
仕掛品	154,957	154,919
原材料及び貯蔵品	1,472,434	880,327
その他	1,223,667	1,063,446
貸倒引当金	4,109	4,464
流動資産合計	9,313,943	8,515,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	839,796	830,780
機械装置及び運搬具（純額）	995,180	969,646
土地	2,046,860	2,527,435
建設仮勘定	47	4,317
その他（純額）	92,498	90,248
有形固定資産合計	3,974,384	4,422,428
無形固定資産		
のれん	393,946	364,272
その他	80,250	79,341
無形固定資産合計	474,196	443,614
投資その他の資産		
投資有価証券	6,348,699	6,603,290
関係会社長期貸付金	1,876,709	1,876,709
その他	267,900	254,335
貸倒引当金	24,710	24,709
投資その他の資産合計	8,468,598	8,709,625
固定資産合計	12,917,179	13,575,668
資産合計	22,231,123	22,091,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,498,110	1,096,207
短期借入金	1,430,302	1,529,516
未払法人税等	161,347	71,971
賞与引当金	107,032	56,371
その他	627,123	830,765
流動負債合計	3,823,916	3,584,831
固定負債		
長期借入金	1,000,750	1,002,066
退職給付に係る負債	63,122	39,599
資産除去債務	65,331	65,495
その他	1,271,056	1,346,408
固定負債合計	2,400,261	2,453,569
負債合計	6,224,177	6,038,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,077,791	2,077,791
利益剰余金	11,245,427	11,115,749
自己株式	717,003	717,024
株主資本合計	14,130,675	14,000,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,869,283	2,056,472
為替換算調整勘定	83,422	81,017
退職給付に係る調整累計額	41,319	39,205
その他の包括利益累計額合計	1,911,387	2,098,284
非支配株主持分	35,117	46,550
純資産合計	16,006,946	16,052,709
負債純資産合計	22,231,123	22,091,110

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,978,251	5,012,582
売上原価	3,878,268	3,927,651
売上総利益	1,099,983	1,084,930
販売費及び一般管理費	870,460	877,283
営業利益	229,523	207,647
営業外収益		
受取利息	9,126	7,405
受取配当金	36,299	35,820
持分法による投資利益	14,712	10,408
その他	7,743	22,608
営業外収益合計	67,881	76,242
営業外費用		
支払利息	8,641	7,743
為替差損	50,170	-
その他	3,986	0
営業外費用合計	62,798	7,743
経常利益	234,606	276,146
特別損失		
固定資産除却損	0	14
固定資産売却損	-	622
投資有価証券評価損	17,227	-
特別損失合計	17,227	637
税金等調整前四半期純利益	217,378	275,509
法人税、住民税及び事業税	72,383	79,155
法人税等調整額	44,539	41,691
法人税等合計	116,922	120,846
四半期純利益	100,456	154,662
非支配株主に帰属する四半期純損失()	58,030	11,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,486	165,698

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	100,456	154,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,723	187,188
為替換算調整勘定	28,610	2,802
退職給付に係る調整額	1,972	2,113
その他の包括利益合計	55,362	186,499
四半期包括利益	45,094	341,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,792	351,745
非支配株主に係る四半期包括利益	70,698	10,583

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第1四半期連結会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
太平洋製糖(株)	487,500千円	475,000千円
南栄糖業(株)	53,873千円	53,873千円
FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. (外貨建)	28,240千円 (8百万パーツ)	28,499千円 (8百万パーツ)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
減価償却費	100,987千円	78,737千円
のれんの償却額	29,673千円	29,673千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月18日 取締役会	普通株式	241,673	9.00	平成28年3月31日	平成28年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月18日 取締役会	普通株式	295,376	11.00	平成29年3月31日	平成29年6月8日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には記念配当1.00円が含まれております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,086,756	1,710,937	150,867	29,690	4,978,251		4,978,251
セグメント間の内部 売上高又は振替高			413		413	413	
計	3,086,756	1,710,937	151,281	29,690	4,978,665	413	4,978,251
セグメント利益 又は損失()	344,438	4,766	134,368	22,978	451,061	221,538	229,523

(注) 1 セグメント利益の調整額 221,538千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,101,303	1,729,445	152,588	29,244	5,012,582		5,012,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,505		944		2,450	2,450	
計	3,102,809	1,729,445	153,533	29,244	5,015,032	2,450	5,012,582
セグメント利益 又は損失()	311,161	6,941	135,396	37,701	415,797	208,150	207,647

(注) 1 セグメント利益の調整額 208,150千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	5.90円	6.17円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	158,486	165,698
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	158,486	165,698
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成29年5月18日開催の取締役会において、平成29年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議しました。

配当金の総額	295,376千円
1株当たりの金額	11.00円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成29年6月8日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8月 8日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	内	田	淳	一
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山	田		円

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。